

針 槐

学校にある「ニセアカシア」は北米原産のマメ科ハリエンジュ属の落葉高木。和名は「針槐」(はりえんじゅ)といわれます。

西合志中学校学校便り

11号

令和8年7月10日
発行責任者 大山 寛

西合志中学校 HP
にも様々な情報を載
せています。右の
QR コードから見る
ことができます。→



令和8年度 西合志中学校 学校教育目標

夢の実現に向けて、挑戦し続ける生徒の育成

～「凡事徹底」、そして「自己への挑戦」・「他への貢献」～

【再度のお願い】夏休みに入る前に

～保護者の皆様へ 子どもたちの SNS に関するお願い～

SNSによる誹謗中傷による「いじめ」やスマートフォンでの画像の転送による加害・被害事案が無いよう、ご家庭でもご指導をお願いします
～子どもたちをご家庭でも守ってください～

学校便りやPTA総会でもお伝えしましたように、近年、SNS上での誹謗中傷による「いじめ」や、スマートフォンで撮影した画像・動画の送信に伴うトラブルが増加しています。学校で対応できる事案もありますが、実際には学校が介入できず、警察が扱う事案となるケースが多くあります。学校では情報モラル教育については行うことができますが、それ以外の対応には限界があり、事件性の高い内容については保護者の方から警察等へご相談いただく必要があります。

特にグループラインの利用には注意が必要です。便利な一方で、複数の子どもが加害者・被害者となるトラブルが増えています。閉じたグループであっても、スクリーンショットや転送によって内容が外部に広がり、深刻な問題につながる可能性があります。

また、Instagramなどの投稿型SNSにもリスクがあります。写真や動画の投稿によって、人物や場所が特定されたり、意図せず拡散したりすることがあります。不適切な投稿は他人を傷つけたり、本人の将来に影響したりする可能性もあり、一度広がった画像や文章は完全に消すことができません。このことでも子どもたちが自ずと被害者や加害者になるケースが増加しています。

SNSでの行動はすべて“記録（デジタルタトゥー）”として残り、相手を傷つけるだけでなく、投稿した本人にも影響します。子どもたちには、投稿する前に「本当に大丈夫か」を立ち止まって考えてほしいと思います。

学校でもSNSの適切な利用について指導を続けてまいります。

① SNSは一瞬で多数の人の目に触れる可能性があること

② 一度投稿した内容は完全には消せず、将来に影響すること

この2点について、子どもたちを本当に守るために、ご家庭におかれましてもお子さまと改めてお話いただき、ご指導をいただきますようお願いいたします。



授業参観・学級懇談会 お世話になりました

三者教育相談 お世話になっています

7/3（金）午後、本校で授業参観及び学級懇談会を実施しました。保護者の皆様には、ご多用中にもかかわらず来校していただき、誠にありがとうございました。子どもたちの様子はいかがだったでしょうか？

また、現在、三者教育相談を実施しています。合志市の小中学校では、長期休業前に面談を行い、これまでの様子や長期休業中の生活や学習等について確認させていただくことになっています。保護者の皆様から何かありましたら、ご相談いただければと思います。ご多用中とは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。